

会議等結果報告書			
会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	50
		決裁期日	平成 23 年 5 月 18 日
名 称	上富良野町協働のまちづくり推進委員会（第 2 回）		
日 時	平成 23 年 5 月 13 日（金） 午後 7 時～午後 8 時 50 分		
場 所	保健福祉総合センター 2 階研修室		
出席者	委員 6 人 町民生活課事務局 3 人 合計 9 名		

内 容

〔進行：町民生活課長〕

町民生活課長から、委員の欠席理由と欠席連絡のあった委員について報告。人数が少ないため、話し合いの内容を変更し、テーマ討論を次回に延期して進めていきたい。

あいさつ

三島会長： 人数は少ないがそれなりに今日の会議を進めていきたいと思う。

町民生活課長： では、要綱に基づき、ここから先は会長が進行する。

議 題

1 広報かみふらのお知らせ版 5 月号の掲載内容について

吉岡主幹： 前のご意見で、これまでやってきたことを紹介しようということで、昨年度から始まった公園緑地等維持管理事業のことは少し触れた程度で、町として初めて計画段階から協働を意識した事業だと考えているので、まずこれを取り上げた。

持安委員： 従来は高齢者事業団に委託していて、現在は住民会にお願いしているが、経費関係はどのようになっているのだろうか。

吉岡主幹： これまでは高齢者事業団に刈り払い機と芝刈り機を町で用意していたが、これからは住民会ごとに用意しなければならないので初期投資はどうしても高くなる。

町民生活課長： 経費は一時的に上がるだろうと思っている。しかし、お金がかかるから協働をやめるということではない。初期投資はかかるかもしれないがじき掛からなくなることも確かである。なぜ協働かというと行政がやると画一的な管理しかできず、目の届かないところがある。同じ公園管理でもただ草を刈ってトイレを掃除して終わるというものが、公園の壊れそうなところを直そうとか壊れる前に直すこともでき、事故の防止にもつながる。将来的に経費が掛からなくなってくれば、いいことだということで、今回協働に踏み切った。また、町全体で取り組むならどこにでもあるものが公園ということもあると思う。

持安委員： 大切なのは先ほど課長が言われたように身近な住民の手が掛かるということで、住民もそこに行き、声掛けもでき、常時遊具の点検もできるなど、ものすごくいいことだと思う。

今まで高齢者事業団だったが、問題点が出てきたので、話し合った結果このようにしようとなった。その効果はこのようになるというふうに組み立てていけば分かりやすいと思う。

文ではなく。目で見てわかるように。

町民生活課長： 積算には人件費を計算しており、1 時間当たり 800 円となっている。しかし、そ

の経費を参加者に分配せずに機械の維持費等に回し、参加者に飲み物を出すという使い方になると思う。請け負ったという表現だと行政が高齢者事業団から住民会に移行しただけになる。

また、住民会の持ち出しがない形で、先ほど言った効果が表れるのでよかったねという形になればいい。

持安委員： 今の課長の言われたようなことが広報内容になればいいと思う。

町民生活課長： 人件費を先立って積算根拠に入れているのは行政的な考え方なのかなと思う。

皆でやる場合は、機械代や維持管理代などの経費だけで済むと思う。

上村委員： 草分の開拓記念館も同じ方式で、住民会が受けてから今年で3年目になる。

島瀬委員： 運営費は年間の金額をまとめて出すのだろうか。

吉岡主幹： そうです。

町民生活課長： 人件費を払ってしまうと協働のまちづくりでなく、業務委託の相手を変えただけになってしまう。

上村委員： 草分の開拓記念館は70～80代の人が出ており、訪れた人は分かっている人から泥流のこととかいろいろ説明してもらえるのでいいという話を聞く。今までは高齢者事業団の人が入れ替わりで担当し説明もできない。中で座っているだけ、(屋外の)清掃担当は別にいた。

町民生活課長： 経費は今までと変わらないが、声かけできる。きめ細かな管理ができる。お金だけではないメリットが生まれてくる。

三島会長： 本町では、老人会ができることとして、草刈りの前に石拾いやゴミ拾いを行った。

吉岡主幹： 昨年は6つの住民会が活動しているので、その住民会に聞いてインタビュー記事も加えれば、どんな風に変ったかを書いていくこともできる。さらに今後の課題を聞くこともできる。

三島会長： 協働しようという話が町民から出てくればいい。1人で請け負ってやっているというところもある。

吉岡主幹： それは事業団に勤めている人がそのまま請け負ったという話だと思う。これだと協働の意味がない。

持安委員： 高齢者事業団に委託していたが、公園管理は汚いとか様々な課題が出てきた。アンケート調査や現地打ち合わせの中で課題を整理した結果、住民会のような身近な人が管理した方がいいということで仕組みを作った。

町民生活課長： 住民から公園の管理が行き届いていない、トイレは汚い、柵もボロボロという苦情があり、大町や南町住民会で公園の柵を作ったりペンキを塗ったりしている。そういう声があったので、それをきっかけにするとこの内容が生きると思う。

持安委員： これからはこの内容を見て、気づいてもらうことが大きなテーマとなる。

町民生活課長： 住民の力を借りると環境はすごくよくなるということもあって、初めて協働になる事案だということで手法を検討していったということだと思う。

三島会長： 日の出山は協働とは逆になっている。以前は花を植えに行って町内会で看板を立てに行ったりしていた。しかし、種類や並べ方がバラバラになってしまうのでやめてしまったかと思う。日の出山に関心が無くなってしまった。

町民生活課長： あれは管理が大変だからやめたのだと思う。主旨がそういうところにはなかったのでバラバラな花壇でもよかったが、水やりなどの管理や花の用意もあるなら全部任せの方がいいということでやめてしまったと思う。

吉岡主幹： 今となっては協働のまちづくりの反対に行ってしまった。

町民生活課長： それをまた元に戻そうとする機運を盛り上げるのもこの会だと思う。そういったこともやったほうがいいという声が住民から出てくれば最高だと思う。

持安委員： まずは身近な公園管理から進めたい。

松下副会長： 住吉住民会でも昨年から公園管理を行っているが、負担になった部分として、保険料がある。役場の想定した団体で加入する保険は、保険会社から断られ、一番安いもので町内会連合会のものだが、1人200円、記名式なので、作業に参加しそうな人をすべて加えた。実際は、保険をかけた人が全員出るわけではないので、予算額を超えてしまった。

また、草刈りに合わせて道路の一斉清掃も行っており、今回はこんなに多くの人に参加してくれるのかというぐらい、80人も人が参加してくれた。最終的には機械を使える人が多く、芝刈り機を持っている人もいたため借り上げのような形でなんとか持ち出しはなくなった。

敷地がなく物置を立てる予定はない。

上村委員： 草分住民会では、建設水道課に言われた保険、延40名2口加入している。

町民生活課長： 郡部の人は自分で機械を持ってくる。島津住民会では管理する公園はないが、年に2回会館の周りの広場と駐車場の草刈りをしている。住民会で負担するものは除草剤代くらいで、あとは全て自分たちが持ってきている。

持安委員： 効果があるという記事の部分をもっと説明するといい。

町民生活課長： 遊具の数や公園の数を具体的に入れる必要はないかもしれない。

松下副会長： 行政内部での検討の部分はこんなに細かくしなくてもいい。読まないものになっても困るので入れない方がいいのではないかな。

持安委員： 協働のまちづくりはどんなものなのか、どういった効果があるのか、なぜこんなことを考えたのかということがここに入れればいい。先ほど三島会長が言っていた老人会の石拾いや公園だけでなく他の道路も一緒にやったという松下副会長の話もあり、いろいろ効果はある。

町民生活課長： 公園管理しか考えていなかったが、新たな行動が生まれるのはいいこと。

持安委員： 子ども達から「ありがとう」という声もある。少子高齢化などいろいろな面で課題があるので、みんなで協働のまちを作ろうということが大切だと思う。

吉岡主幹： 昨年の段階ではどうなるかなと思っていた。思いのほか順調に行っている。

町民生活課長： それは自分たちで柵を作ったり色を塗ったりした住民会があり、公園だから受け入れたと思う。昔も役場が機械と資材を出して、住民会や町内会から人を出してもらって側溝整備などもやっていた。それがなくなってしまったがやはり必要だということで始まった第一段階がこれだという位置づけの方がいいかもしれない。

島瀬委員： 昔のお金のある時代に、業者にやらせるという安易な考えで切ってしまったと思う。

町民生活課長： 昔は砂利道で舗装しているところも少なく、住民会として水はきれいに流してほしいということで、工事できないのなら資材と重機だけ町に願って、人は出すという条件が整ったところから順に行われていった。

島瀬委員： それが本当の協働だったと思う。

持安委員： 先ほどの開拓記念館の例もいいと思う。

町民生活課長： あれも一つの公園なので一緒に載せてもいい。公園と別に以前から管理しているものとしてこんなものがあるということで書き、軌道に乗っている。

上村委員： 会館は年間約90日開いており、昨年も一昨年も700名程度訪れている。

町民生活課長： 地域でやることによって、来館者に対して十分なサービス提供ができているということが宣伝材料となる。

持安委員： そこにも課題を書いてほしい。会館の日数が約90日ということで本当にそれだけで

いいのかという点もある。そこに他の人が協力するともっと日数を増やしていくこともできる。そういったような書き方にしていけばいいのではないか。

吉岡主幹： 開拓記念館があることが十分案内されているのか。お客さんが知っているのか。その発信が十分なのか。

公園の管理については、昨年の住民会長懇談会でどの住民会が管理しているというプレートを立てるといった話もしている。そのことが地域の人たちの励みになり、PR効果にもつながる。だとすれば草分の開拓記念館にも欲しい。

持安委員： 開拓記念館の課題は情報発信かもしれない。地域の住民がやっているということを今初めて知ったという方がたくさんいると思う。

町民生活課長： 地元の老人のほうが開拓記念館の大切さをわかっている。委託していたときの人たちは仕事で行っているが、今やっている人たちは自分たちの先祖の苦労したことが凝縮されているので思いがあるんだよ。それを話せるということは大きいことだと思う。

松下副会長： いわゆる語り部みたいなもの。インパクトがある。

上村委員： (来る人は、)本州とか地方の人が多。地元の人は少ない。

中沢委員： 開拓発祥の地の記念碑もある。

上村委員： 去年、秋に道路に砂利敷いてもらって整備した。記念碑は小さい石碑がある。

吉岡主幹： 国道から案内標識があって誘導してくれるといい。

上村委員： 開拓記念館を訪れる人からどこにあるのかよく聞かれる。

町民生活課長： 情報提供がないことが課題の一つなので情報発信する必要がある。町内の人より町外の人があるということなので、町のホームページで地元の老人が説明してくれて非常にいいという案内をすることも必要になると思う。

島瀬委員： 開拓記念館は、町のホームページで紹介しているのか。

松下副会長： 駅の案内所でも我々が知らないことを聞かれる。インターネットで調べてくる時代。

吉岡主幹： 町のホームページもこれは必ず載せるべき情報とか議論されていない。各所管の担当者個々の判断で作られている。

3 今後のスケジュール

吉岡主幹： 今回延期となったテーマ討論は次回行いたい。また、この委員会では協働事業の掘り起こしも行う予定なので、今後考えていきたい。

三島会長： 次回会議は6月24日(金)に開催したいと思う。

閉 会 [会議終了 : 20 時 50 分]

上富良野町協働のまちづくり推進委員会 委員名簿

任期：平成22年6月29日から平成24年3月31日まで

2

	所属団体・機関の名称	氏名	備考	5月13日
1	住民会長連合会	上村 勉		
2	住民会長連合会	松下 力		
3	社会福祉協議会	持安 弘行		
4	NPO法人たんぽぽの会	三島 功士		
5	ふらの農業協同組合上富良野支所	瀬川 英樹		
6	商工会	近野 直紀		
7	生活安全推進協議会	島瀬 良一		
8	女性連絡協議会	中澤 正子		
9	リフレッシュ・マイタウン・かみふらの	奥田 哲也		
10	公募	大内 和行		
11	公募	徳武 良弘		
12	公募	久我 みち子		
13	公募	平倉 範子		

6